

(1) 水産施策等に係る現状報告



オ 釜石版ブルーカーボン・オフセット
制度について



1 はじめに

近年、気候変動を背景に、国内では豪雨等が、世界各国では記録的な熱波や寒波、大雨等が発生している。

国内外における気象災害

令和3年8月大雨被害（日本各地）



資料：朝日新聞社/時事通信フォト

森林火災（米国カリフォルニア州）

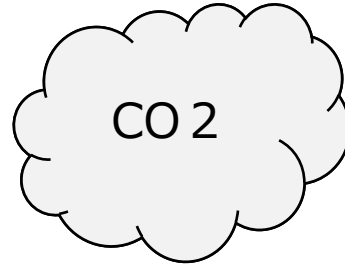
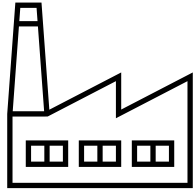


資料：AFP=時事

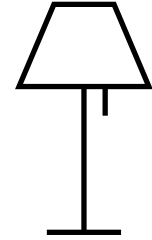
（出典）令和4年版 環境・循環型社会・生物多様性白書

多くの生き物の命が失われるなど、甚大な被害が生じている

経済活動



日常生活



二酸化炭素などの温室効果ガスが気候変動の原因



温室効果ガスの継続的な排出によって、
人々や生態系にとって**深刻で広範囲にわたる不可逆的な影響**が生じる可能性

1 はじめに

これらを踏まえ、

国

令和2年10月、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体として実質的にゼロにする、すなわちカーボンニュートラルを目指す」ことを宣言。

国による宣言を受けて

釜石市

令和3年10月、「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを表明。

当市では、国や市が宣言・表明した目標を達成するため、水産分野では**当市独自の「ブルーカーボン・オフセット制度」**創設に向け取り組んできた。

- 令和5年5月に事業を開始
令和5年10月には、第1号となるオフセット証明書を交付



地球とともに

【参考】 <https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2021102900058/>

記者会見資料 No.1
令和3年10月29日
生活環境課

釜石市は「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」

ことを表明します

近年、世界各国、日本全国各地で猛暑、大型台風、豪雨などの異常気象が発生しております。当市でも、令和元年の台風19号による甚大な被害を受けたことは記憶に新しいところであります。

このような異常気象発生の要因として、温室効果ガスの排出がもたらす地球温暖化が気候変動を引き起こすものと考えられております。

気候変動問題は、国際社会が一体となり取り組むべき重要な課題であります。国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、2015年「パリ協定」が採択され、各国が削減目標を提出することが義務付けられましたが、地球温暖化には歯止めがかかっておりません。

令和2年10月、国は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。」ことを表明しました。

当市は、海、山、川などの自然環境に恵まれております。この貴重な自然環境を未来の子供たちに引き継いでいく必要があります。

市民一人ひとりが、今置かれている現状を把握し、危機感を持って行動していく必要があるため、ここに「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを表明し、省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの導入を促進し、地域経済や市民の生活の向上に向け、市民、事業者、行政が一体となり脱炭素社会を目指して参ります。

令和3年10月29日

釜石市長 野田 武則



釜石市が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを表明することについて

1 岩手県内 2050年ゼロカーボン表明自治体（2021.9.30現在）

	自治体名	人口（万人）	表明日	表明方法
1	岩手県	128	2019/11/27	定例記者会見
2	久慈市	3.5	2019/12/2	}
3	二戸市	2.7	2019/12/2	
4	洋野町	1.6	2019/12/2	}
5	一戸町	1.2	2019/12/2	
6	軽米町	0.9	2019/12/2	}
7	葛巻町	0.6	2019/12/2	
8	九戸町	0.5	2019/12/2	}
9	野田村	0.4	2019/12/2	
10	普代村	0.2	2019/12/2	}
11	八幡平市	2.6	2020/2/19	
12	宮古市	5.7	2020/11/11	HP掲載
13	一関市	12	2021/2/22	施政方針
14	紫波町	3.3	2021/3/8（報告日）	施政方針

※参考・・・全国では464自治体が表明

2 各市町村の主な取組例

- ・ 地域資源の好循環に向けた再エネ由来のポテンシャルを最大限に活用（岩手県）
- ・ 他市との広域連携により、地域循環共生圏の形成を目指す。（県北9市町村）
- ・ 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に温室効果ガス実質排出ゼロを盛り込む（久慈市）
- ・ メガソーラー、大型風力、洋上風力の設置計画の推進によるエネルギー地産地消（洋野町）
- ・ メガソーラー発電事業、バイオマス発電（軽米町）
- ・ 環境基本計画にゼロカーボンに取組むことを盛り込む（八幡平市）など

3 取組内容

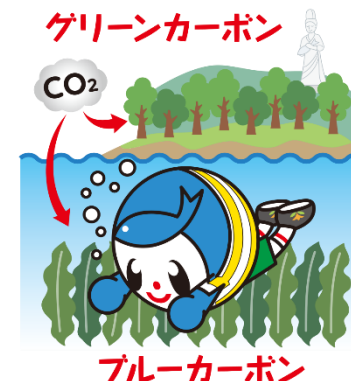
- ・ 「釜石市環境基本計画」（令和5年3月策定予定）及び「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（令和5年3月策定予定）に「2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにすること」を盛り込む。
 - ・ 具体的な取組内容については、今後検討していく。
- ※取組参考例
- 水力、バイオマス、風力、太陽光を生かした再生可能エネルギーの活用
 - スマートコミュニティのようなデジタル技術を活用した電気のネットワーク化
 - グリーン・ブルーカーボンクレジットの活用
 - 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進、省エネの促進など

2 釜石版ブルーカーボン・オフセット制度の概要

(1) ブルーカーボン

森林が吸収・固定するCO₂をグリーンカーボンという。

海洋生態系が吸収・固定するCO₂をブルーカーボンという。



(2) カーボン・オフセット

自らのCO₂等の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を、他の場所での排出削減・吸収活動に投資することによって相殺することをいう。

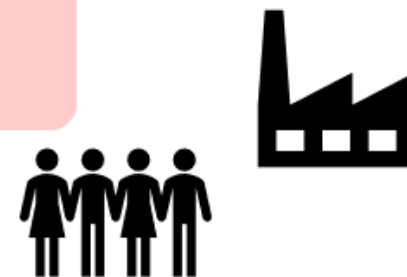


二酸化炭素吸収源
(藻場等) 造成者
[ワカメ生産者等]

吸収源 (カーボンクレジット) の購入
= 排出二酸化炭素の打消し (実質削減)



吸収源 (カーボンクレジット) の
販売 (提供)



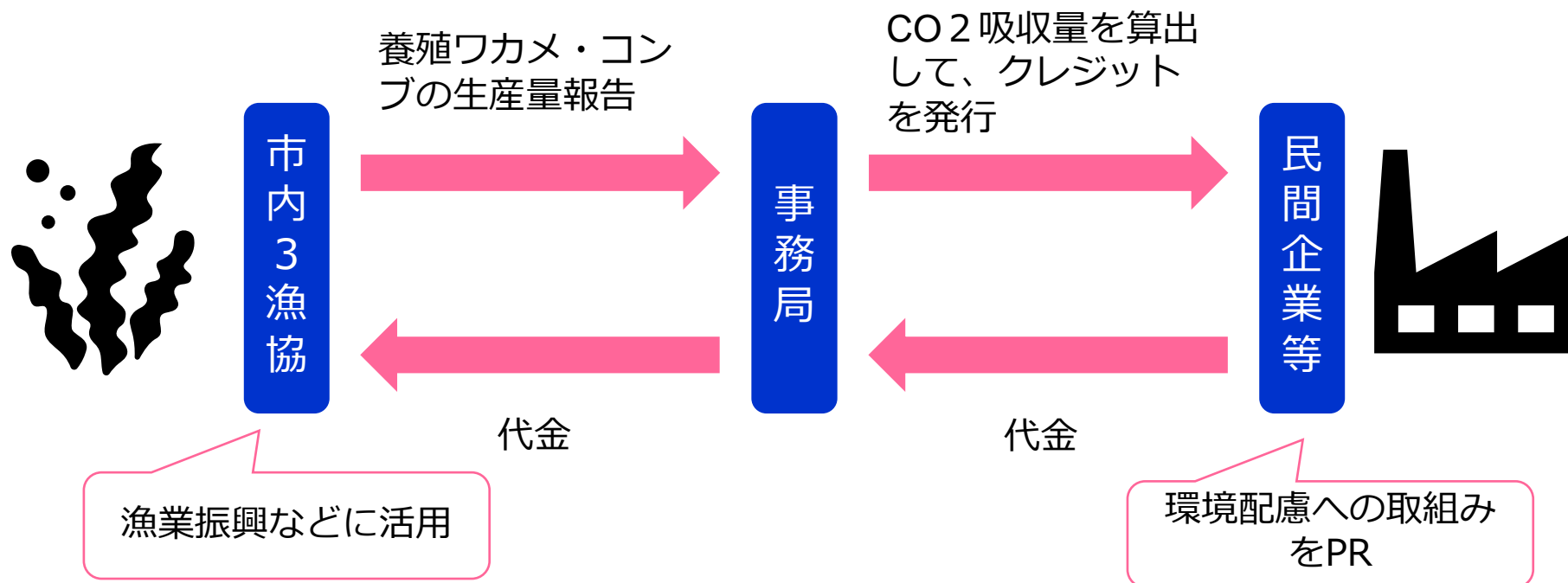
二酸化炭素
排出者
[個人・企業等]

2 釜石版ブルーカーボン・オフセット制度の概要

(3) 釜石版ブルーカーボン・オフセット制度について

本制度は、「ブルーカーボン」による二酸化炭素吸収量の増大及び排出量の削減効果を取引可能なクレジットとして認証し、そのクレジットの売買を行うことで、カーボン・オフセットの促進を目指す制度。

(4) ブルーカーボン・オフセットの流れ



(5) ブルーカーボン・オフセットのメリット

メリット1

環境貢献

気候変動の緩和に貢献することができます。



メリット2

イメージアップ

環境配慮への取組みをPRでき、CSR活動やESG投資などにもつながります。



メリット3

漁業支援

海藻類は、ウニなどの生育拠点、餌になります。



【CSR】

企業の社会的責任。企業は、利益追求、法令順守だけでなく、あらゆるステークホルダー（利害関係者）の要求に対し適切な対応をとる義務があることを示す。

【ESG投資】

投資家が、環境（Environment）、社会（Social）、統治（Governance）に対する企業の対応を考慮して行う投資のこと。

(6) クレジットの販売方法等

① クレジット発行量（令和4年度生産分）

39.2 t -CO₂ ※令和6年2月末現在で29.5 -CO₂ を販売済み。
(30事業者)

② 販売価格

税込み8,800円 / t -CO₂ ←先行事例の福岡市、横浜市の制度と同じ単価

③ 事務局

株式会社かまいしDMC

④ クレジットの販売方法

株式会社かまいしDMCが実施するワーケーションプログラムとセットで販売。

※ クレジットの購入のみも受け付けている。

(7) 注意点

- ① クレジット量には限りがある。
- ② CO₂の削減に向けた自主的な取り組みも必要。
- ③ 本制度のクレジットは、温対法や省エネ法に基づく報告には活用できない。
 - ブルーカーボン自体が二酸化炭素吸収源として認められていないため。

釜石版ブルーカーボン・オフセット制度 ビジョン

